

学校コード F127310108349

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人森ノ宮医療学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

ソウムフキカクカチョウキシカワヤスオ
総務部企画課長 岸川 靖夫

電話番号

06-6616-6911

（夜間）

06-6616-6911

e-mail

kikaku@morinomiya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

総合リハビリテーション学部

＜理学療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 森ノ宮医療学園

(2) 大学名

森ノ宮医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒559-8611

大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シミズ ナオミチ) 清水 尚道 (平成25年4月1日)		
学長	(アオキ モトクニ) 青木 元邦 (令和3年4月1日)		
学部長	(モリタニ マサユキ) 森谷 正之 (令和4年4月1日)		
学科長等	(ミキヤ リョウスケ) 三木屋 良輔 (令和4年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合リハビリテーション学部 理学療法学科 学士 (理学療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	70人	年次 編入学定員	280人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	70		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	788 [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	757 [-]	1.00倍	-
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	145 [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	70 [-]		
入学定員超過率 B/A											1		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	70 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					- [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	70人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!} \%$$

数式が入力されています。

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!} \%$$

数式が入力されています。

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!} \%$$

数式が入力されています。

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!} \%$$

数式が入力されています。

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = 0 \%$$

数式が入力されています。

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			1	1	1		1	
	物理学	1後	2							1	
	生物学	1前		2						1	
	化学	1前		2						1	
	情報処理	1前	2			1		1			
	統計学	3前		2						1	
	心理学	1前	2							1	
	生命倫理学	1前		2						1	
	哲学	1後		2						1	
	社会福祉学	1前	2							1	
	日本国憲法	1後		2						1	
	東洋史概説	3前		2						1	
	西洋史概説	3前		2						1	
	英語Ⅰ(初級)	1前	2							2	
	英語Ⅱ(中級)	1後	2							2	
	英会話	2前		2						1	
	医学英語	2後		2						1	
	基礎英語演習	2前		2						1	
	応用英語演習	2後		2						1	
小計(19科目)	-	14	24	0	2	0	2	1	0	11	
共通科目群	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			1					
	チーム医療見学実習	1前	1			1					
	医療コミュニケーション	2前	1			2		1			
	チーム医療論	2後	1			2		1			
	IPW論	3前	1			2		1			
	基礎体育	1前		1							4
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2	1	1		1			1
	東洋医療概論	2後		2							1
	統合医療概論	3前		2							3
小計(13科目)	-	5	15	0	2	1	1	1	0	9	
学科専門科目群・専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ(運動器)	1前	1			1					
	人体の構造演習Ⅱ(運動器)	1後	1			1					
	人体の構造Ⅰ(神経系)	1前	2			1					
	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	1後	2			1					
	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	1				1				
	臨床運動学	2前	1			1					
	運動学実習	1後	1			1	1	2			
	臨床心理学	1後	1								1
	リハビリテーション概論	1前	2			1		1			1
	公衆衛生学	1後		2							1
	生化学	2前		2							1
	病理学	2前		2							1
	臨床病態学Ⅰ	2前		2		1					1
	臨床病態学Ⅱ	2後		2		1					1
	臨床病態学Ⅲ	2後		2							3
	整形外科学	2前		2							1
	小児科学(人間発達学)	2後		2		1					
	精神医学	2前		2							1
	リハビリテーション医学(画像診断・予防・栄養含む)	2前		2		1					
	チームリハビリテーション概論	2前	1			1					4
	介護学概論・ボランティア活動論	2後		1		1					1
	スポーツ医学	3前		1							1
	テーピング技術論	2後		1							1
小計(26科目)	-	34	7		3	2	2	0	0	19	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			1	1	+	1		1
	物理学	1後	2								1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	情報処理	1前	2			1	1	+			
	統計学	3前		2							1
	心理学	1後	2								1
	生命倫理学	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	社会福祉学	1前	2								1
	日本国憲法	1後		2							1
	東洋史概説	3前		2							1
	西洋史概説	3前		2							1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	英会話	2前		2							1
	医学英語	2後		2							1
	基礎英語演習	2前		2							1
	応用英語演習	2後		2							1
小計(19科目)	-	14	24	0	2	1	0	1	0	12	
共通科目群	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			1					
	チーム医療見学実習	1前	1			1					
	医療コミュニケーション	2前	1			2	1	+	2		
	チーム医療論	2後	1			2	1	+			
	IPW論	3前	1			2	1	+	1		
	基礎体育	1前		1							4
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2	1	1		1			1
	東洋医療概論	2後		2							1
	統合医療概論	3前		2							3
小計(13科目)	-	5	15	0	2	2	0	4		9	
学科専門科目群・専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ(運動器)	1前	1					+		1	
	人体の構造演習Ⅱ(運動器)	1後	1					+		1	
	人体の構造Ⅰ(神経系)	1前	2			1					
	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	1後	2			1					
	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	1						1	+	
	臨床運動学	2前	1			1					
	運動学実習	1後	1			1	1	2			
	臨床心理学	1後	1								1
	リハビリテーション概論	1前	2			1		1	+		1
	公衆衛生学	1後		2							1
	生化学	2前		2							1
	病理学	2前		2							1
	臨床病態学Ⅰ	2前		2							1
	臨床病態学Ⅱ	2後		2							1
	臨床病態学Ⅲ	2後		2							3
	整形外科学	2前		2							1
	小児科学(人間発達学)	2後		2		1					
	精神医学	2前		2							2
リハビリテーション医学(画像診断・予防・栄養含む)	2前		2		1						
チームリハビリテーション概論	2前	1			1					4	
介護学概論・ボランティア活動論	2後		1		1					1	
スポーツ医学	3前		1							2	
テーピング技術論	2後		1							1	
小計(21科目)	-	34	7		4	3	0	1	0	18	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門科目	医療関係法規論	1前	2								1	
	理学療法触診法	3後	1			1	1					
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1			1	1	1				
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1			1	1	1				
	基礎理学療法学実習	2通	1			3	1	2				
	職場管理(教育を含む)	3後	1			1	1					
	職業倫理	3後	1			1	1					
	理学療法評価学総論	1後	1				1	2	1			
	理学療法評価学各論	2前	2				1	2	1			
	臨床理学療法評価学(動作分析)	3前	1			2						
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			3	1	2				
	基礎日常生活活動学	1後	1					1	1			
	基礎運動療法学総論	2前	1			1	1					
	基礎運動療法学各論	2後	1			2	0					
	物理療法学	1後	1					1	1			
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1					
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			2	1					
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			3	1					
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1			
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1			
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1			
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1			1	
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1			1	
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1			1	
	発達障害理学療法学	3前	1			1	1					
	義肢装具学	2後	2			1	1	1				
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			3	1	2				
	地域理学療法学	2後	2			1	1					
	生活環境論	2後	1			1	1	1				
	老年期理学療法学	3後	1			1	1	1				
	理学療法臨床推論概論	2後	1			2						
	理学療法臨床推論演習	3前	1			2						
	総合リハビリテーションIPW演習	3前	1			2						
	理学療法特論Ⅰ	3後	1			2	2	1				
	理学療法特論Ⅱ	4前	1			2	2	1				
	理学療法特論Ⅲ	4後	2			2	2	1				
	運動器系理学療法セミナー	4前	1			3	1					
	神経系理学療法セミナー	4前	1			1	1	1	1		2	
	内部障害系理学療法セミナー	4前	1			1	1	1	1		1	
	地域理学療法セミナー	4前	1			1	1					
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	3	3	2			
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	3	3	2			
	臨床見学実習	1後	1			5	3	3	2			
	検査測定実習	2前	1			5	3	3	2			
	臨床評価実習	3後	4			5	3	3	2			
	地域理学療法実習	4前	1			5	3	3	2			
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			5	3	3	2			
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			5	3	3	2			
小計(48科目)	-	67	6		6	3	3	2	0	2		
合計(106科目)	-	120	52		8	3	3	2	0	36		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修34単位+選択1単位以上、学科専門科目群の専門科目から必修67単位+選択1単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は半期24単位、通年で48単位以内とする。												

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門分野	医療関係法規論	1前	2								1	
	理学療法触診法	3後	1			1	1			1		
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1			1	2	1				
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1			1	2	1				
	基礎理学療法学実習	2通	1			3	1	5				
	職場管理(教育を含む)	3後	1			1	1					
	職業倫理	3後	1			1	1					
	理学療法評価学総論	1後	1				1	2	1			
	理学療法評価学各論	2前	2				1	2	1			
	臨床理学療法評価学(動作分析)	3前	1			2						
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			3	1	5				
	基礎日常生活活動学	1後	1					1	3			
	基礎運動療法学総論	2前	1			1	1			1		
	基礎運動療法学各論	2後	1			2	0					
	物理療法学	1後	1					1	2			
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1					
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			2	1					
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			3	1					
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1		2	
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1		2	
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1		2	
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1		1	1
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1		1	1
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1		1	1
	発達障害理学療法学	3前	1			1	1					
	義肢装具学	2後	2			1	1	1				
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			3	1	2				
	地域理学療法学	2後	2			1	1					
	生活環境論	2後	1			1	1	1			2	
	老年期理学療法学	3後	1			1	1	1			2	
	理学療法臨床推論概論	2後	1			2					2	
	理学療法臨床推論演習	3前	1			2					2	
	総合リハビリテーションIPW演習	3前	1			2					1	
	理学療法特論Ⅰ	3後	1					2	2	1		
	理学療法特論Ⅱ	4前	1					2	2	2		
	理学療法特論Ⅲ	4後	2					2	2	1		
	運動器系理学療法セミナー	4前	1			3	1					
	神経系理学療法セミナー	4前	1			1	1	1	1		2	
	内部障害系理学療法セミナー	4前	1			1	1	1	1		1	
	地域理学療法セミナー	4前	1			1	1					
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	4	2	3			
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	4	2	2			
	臨床見学実習	1後	1			5	4	2	5			
	検査測定実習	2前	1			5	4	2	6			
	臨床評価実習	3後	4			5	4	2	5			
	地域理学療法実習	4前	1			5	4	2	2			
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			5	4	2	5			
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			5	4	2	4			
小計(62科目)	-	67	6		6	4	2	6	0	2		
合計(106科目)	-	120	52		8	3	3	2	0	36		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修34単位+選択1単位以上、学科専門科目群の専門科目から必修67単位+選択1単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は半期24単位、通年で48単位以内とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- (記入例)
- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「情報処理Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「医療コミュニケーション」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教2」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「チーム医療論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「IPW論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の退職により「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の退職により「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎運動学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「運動学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員が学長に就任したことにより学科所属ではなくなったため、「臨床病態学Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
 - ・専任教員が学長に就任したことにより学科所属ではなくなったため、「臨床病態学Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「精神医学」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法触診法」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「基礎理学療法実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「臨床理学療法評価学実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「基礎日常生活活動学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教3」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「基礎運動療法学総論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「物理療法学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「生活環境論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「老年期理学療法学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法臨床推論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法臨床推論演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「総合リハビリテーションIPW演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教3」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「検査測定実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」「助教2」から「助教6」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・専任教員の職位変更に伴い、「地域理学療法実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床総合実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」「助教2」から「助教5」に変更。
 - ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床総合実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」「助教2」から「助教4」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
75 科目	31 科目	0 科目	106 科目	75 科目 []	31 科目 []	0 科目 []	106 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる。 特区No.828（大阪市） 認識相違のため(4) 認識相違・セミナーハ ウス追加(4)		
	校舎敷地	30495.44㎡ 32171.51㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 32171.51㎡			
	運動場用地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	小 計	30495.44㎡ 32171.51㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 32171.51㎡			
	そ の 他	0㎡ 980.13㎡	0㎡	0㎡	0㎡ 980.13㎡			
	合 計	30495.44㎡ 33151.64㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 33151.64㎡			
(2) 校 舎	専 用	28853.21㎡ 27211.33㎡	0㎡	0㎡	28853.21㎡ 27211.33㎡	認識相違・セミナーハ ウス追加(4) 認識相違のため(4)		
		(28853.21㎡) (27108.06㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28853.21㎡) (27108.06㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	46室 47室	演 習 室 19室 20室	実験実習室 49室 46室	情報処理学習施設 1室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体 用途変更(4)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		個人研究室3室 共同研究室6室 大学全体→理学療法学 科専任の記載へ(4)		
	総合リハビリテーション学部 理学療法学科			82 9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部・研究科等の単位 での特定が不能なた め、大学全体の数 購入予定数の変更(4) 新規購入・除却(4)
		31,200 [1,760] 37,892 [2,427] (30,100) [1,720]	440 [60] 475 [61] (440 [62]) (451 [57])	20 [10] 22 [12] (19 [10]) (18 [8])	920 1,113 (899) (973)	1,695 2,426 (1,695) (2,226)	275 786 (275) (626)	
	計	440 [60] 475 [61] (440 [62]) (451 [57])	20 [10] 22 [12] (19 [10]) (18 [8])	920 1,113 (899) (973)	1,695 2,426 (1,695) (2,226)	275 786 (275) (626)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 用途変更(4)		
	881.58㎡ 927.21㎡		273	80,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1323.22㎡		多目的スポーツ施設 1					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費（運用コスト含 む）を含む
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	14,000千円	14,000千円	
	共 同 研 究 費 等	15,500千円	15,500千円	設備購入費	36,000千円	36,000千円	36,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,710千円	第3年次 1,710千円	第4年次 1,710千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	森ノ宮医療大学					平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員						
保健医療学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度	年度	
看護学科	4	470	-	1320	-	1.08	-	-	平成19	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16	
理学療法学科	4	90	-	270	学士(看護学)	1.00	-	-	平成23	同上	令和4年学生募集停止
作業療法学科	4	70	-	210	学士(理学療法)	1.00	-	-	平成19	同上	令和4年学生募集停止
臨床検査学科	4	40	-	120	学士(作業療法)	1.22	-	-	平成28	同上	令和4年学生募集停止
臨床工学学科	4	70	-	200	学士(臨床検査)	1.08	-	令和2	平成28	同上	令和4年度 医療技術学部への名称変更に伴い学生募集停止
診療放射線学科	4	60	-	180	学士(臨床工学)	1.15	-	-	平成30	同上	令和4年度 医療技術学部への名称変更に伴い学生募集停止
鍼灸学科	4	80	-	160	学士(診療放射線)	1.14	-	令和2	令和2	同上	令和4年度 医療技術学部への名称変更に伴い学生募集停止
鍼灸学科	4	60	-	180	学士(鍼灸)	1.08	-	-	平成19	同上	令和4年度 医療技術学部への名称変更に伴い学生募集停止
看護学部	4	90	-	90	-	1.01	1.01	令和4	令和4	同上	
看護学科	4	90	-	90	学士(看護学)	1.01	1.01	令和4	令和4	同上	
総合リハビリテーション学部	4	110	-	110	-	1.09	1.09	令和4	令和4	同上	
理学療法学科	4	70	-	70	学士(理学療法)	1.00	1.00	令和4	令和4	同上	
作業療法学科	4	40	-	40	学士(作業療法)	1.25	1.25	令和4	令和4	同上	
医療技術学部	4	270	-	270	-	1.14	1.14	-	平成19	同上	令和4年保健医療学部から名称変更
臨床検査学科	4	70	-	70	学士(臨床検査)	1.07	1.07	令和2	平成28	同上	
臨床工学学科	4	60	-	60	学士(臨床工学)	1.21	1.21	-	平成30	同上	
診療放射線学科	4	80	-	80	学士(診療放射線)	1.12	1.12	-	令和2	同上	
鍼灸学科	4	60	-	60	学士(鍼灸)	1.16	1.16	令和2	平成19	同上	
大学全体	4	470	-	1790	-	1.08	1.10	-		同上	

大学の名称	森ノ宮医療大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保健医療学研究科											
保健医療学専攻(修士課程)	2	6	-	12	修士(保健医療学)	1.20	0.66	-	平成23	大阪府大阪市住之江区南港北1-29-15	
看護学専攻(修士課程)	2	6	-	6	修士(看護学)	0.41	-	-	令和2	同上	令和4年度 博士前期課程への名称変更に伴い学生募集停止
看護学専攻(博士前期課程)	2	6	-	6	修士(看護学)	1.00	1.00	-	令和2	同上	令和4年度修士課程から名称変更
医療科学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(医療科学)	0.87	1.00	-	平成30	同上	
看護学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士(看護学)	1.00	1.00	-	令和4	同上	
大学院全体	-	22	-	36	-	0.97	0.87	-	-	同上	

大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人									
該当なし											

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三木屋 良輔 <令和4年4月> 修士(医科学)
		医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎理学療法実習 職場管理(教育を含む) 職業倫理 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 基礎運動療法総論 基礎運動療法各論 運動器系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	河村 廣幸 <令和4年4月> 専門士
		情報処理 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 義肢装具学 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	青木 元邦 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三木屋 良輔 <令和4年4月> 修士(医科学)
		医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎理学療法実習 職場管理(教育を含む) 職業倫理 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 基礎運動療法総論 基礎運動療法各論 運動器系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	河村 廣幸 <令和4年4月> 専門士
		情報処理 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 義肢装具学 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森谷 正之 ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	北村 清一郎 ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器)
専	教授	堀 竜次 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		チームリハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	中根 征也 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 身体運動科学 リハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 神経系理学療法セミナー 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森谷 正之 ＜令和4年4月＞ 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	堀 竜次 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		チームリハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	中根 征也 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 身体運動科学 リハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 神経系理学療法セミナー 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	工藤 慎太郎 <令和4年4月> 博士(医療科学)	専	教授	工藤 慎太郎 <令和4年4月> 博士(医療科学)
		臨床運動学 運動学実習 理学療法触診法 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法学Ⅰ 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 運動器系理学療法学Ⅳ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			臨床運動学 運動学実習 理学療法触診法 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法学Ⅰ 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 運動器系理学療法学Ⅳ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	前田 薫 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	前田 薫 <令和4年4月> 博士(医学)
		運動学実習 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 介護学概論・ボランティア活動論 理学療法触診法 基礎運動療法学総論 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			運動学実習 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 介護学概論・ボランティア活動論 理学療法触診法 基礎運動療法学総論 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	澤田 優子 <令和4年4月> 博士(医学)	専	准教授	澤田 優子 <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学(人間発達学) 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 発達障害理学療法学 地域理学療法学 老年期理学療法学 地域理学療法セミナー 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			小児科学(人間発達学) 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 発達障害理学療法学 地域理学療法学 老年期理学療法学 地域理学療法セミナー 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	木内 隆裕 ＜令和4年4月＞ 修士（人間健康科学）	専	准教授	木内 隆裕 ＜令和4年4月＞ 修士（人間健康科学）
		身体運動科学 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			身体運動科学 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	角田 晃啓 ＜令和4年4月＞ 修士（健康科学）	専	准教授	角田 晃啓 ＜令和4年4月＞ 修士（健康科学）
		基礎ゼミナール 情報処理 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎運動学 運動学実習 リハビリテーション概論 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅰ 内部障害系理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			基礎ゼミナール 情報処理 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎運動学 運動学実習 リハビリテーション概論 基礎理学療法学Ⅰ 基礎理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅰ 内部障害系理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	仲本 正美 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	専	講師	仲本 正美 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		運動学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 基礎日常生活活動学 物理療法学 義肢装具学 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			運動学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 基礎日常生活活動学 物理療法学 義肢装具学 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	杉本 圭 <令和4年4月> 修士(学術)	専	講師	杉本 圭 <令和4年4月> 修士(学術)
		基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
		専			助教
専	助教	基礎ゼミナール 身体運動科学 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ	専	助教	基礎ゼミナール 身体運動科学 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	助教	林 真太郎 <令和4年4月> 修士(保健医療学)	専	助教	林 真太郎 <令和4年4月> 修士(保健医療学)
		基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ			基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
		専			助教

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					<p>国宗 翔</p> <p><令和4年4月> 博士(学術)</p>
			専	助教	<p>IPW論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学演習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 理学療法特論Ⅱ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ</p>
			専	助教	<p>堤 真大</p> <p>博士(医学) <令和4年4月></p>
					<p>人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器) 検査測定実習</p>
			専	助教	<p>檜垣 奨</p> <p><令和4年4月> 学士 (理学療法)</p>
					<p>医療コミュニケーション 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学演習 生活環境論 老年期理学療法学 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ</p>
			専	助教	<p>平川 正彦</p> <p><令和4年4月> 学士 (理学療法)</p>
					<p>医療コミュニケーション 理学療法触診法 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価実習 基礎日常生活活動学 基礎運動療法学総論 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学演習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 神経系理学療法セミナー 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阿部 秀高 <令和4年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナール
兼担	教授	安部 辰夫 <令和4年4月> 博士(医学)
		化学
兼担	教授	井手口 範男 <令和4年4月> 修士(人間科学)
		統計学
兼担	教授	藤重(中嶋)仁子 <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 英会話
兼担	教授	中原 英博 <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ 身体運動科学
兼担	教授	山下 仁 <令和4年4月> 博士(保健学)
		統合医療概論
兼担	教授	森 美侑紀(広子) <令和4年4月> 博士(医学)
		統合医療概論
兼担	教授	川畑 浩久 <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阿部 秀高 <令和4年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナール
兼担	教授	安部 辰夫 <令和4年4月> 博士(医学)
		化学
兼担	教授	井手口 範男 <令和4年4月> 修士(人間科学)
		統計学
兼担	教授	藤重(中嶋)仁子 <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 英会話
兼担	教授	中原 英博 <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ 身体運動科学
兼担	教授	山下 仁 <令和4年4月> 博士(保健学)
		統合医療概論
兼担	教授	森 美侑紀(広子) <令和4年4月> 博士(医学)
		統合医療概論
兼担	教授	川畑 浩久 <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木田 岩男 <令和4年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	教授	前川 佳敬 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	松崎 伸介 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	吉岡 敏治 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	小林 貴代 <令和4年4月> 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	橋本 弘子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	金尾 顕郎 <令和4年4月> 専門学校卒
		リハビリテーション概論 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木田 岩男 <令和4年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	教授	五十嵐 淳介 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ
兼任	教授	前川 佳敬 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	松崎 伸介 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	吉岡 敏治 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	小林 貴代 <令和4年4月> 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	橋本 弘子 <令和4年4月> 博士(保健学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	金尾 顕郎 <令和4年4月> 専門学校卒
		リハビリテーション概論 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横山 浩之 <令和4年4月> 学士 (鍼灸学)
		東洋医療概論
兼任	准教授	増山 祥子 <令和4年4月> 修士 (心身健康科学)
		統合医療概論
兼任	講師	長尾 晋宏 <令和4年4月> 修士 (文学)
		英語 I (初級) 英語 II (中級) 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習
兼任	講師	佐野 加奈絵 <令和4年4月> 博士 (スポーツ科学)
		基礎体育 健康科学 (スポーツ社会学を含む)
兼任	助教	伊奈 新太郎 <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育
兼任	助教	信江 彩加 <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	講師	久国 正章 <令和4年4月> 高等学校卒
		物理学 生物学
兼任	講師	海蔵寺 陽子 <令和4年4月> 修士 (社会学)
		心理学 臨床心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横山 浩之 <令和4年4月> 学士 (鍼灸学)
		東洋医療概論
兼任	准教授	増山 祥子 <令和4年4月> 修士 (心身健康科学)
		統合医療概論
兼任	講師	長尾 晋宏 <令和4年4月> 修士 (文学)
		英語 I (初級) 英語 II (中級) 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習
兼任	講師	佐野 加奈絵 <令和4年4月> 博士 (スポーツ科学)
		基礎体育 健康科学 (スポーツ社会学を含む)
兼任	助教	伊奈 新太郎 <令和4年4月> 修士 (体育学)
		基礎体育
兼任	助教	信江 彩加 <令和4年4月> 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼任	講師	久国 正章 <令和4年4月> 高等学校卒
		物理学 生物学
兼任	講師	海蔵寺 陽子 <令和4年4月> 修士 (社会学)
		心理学 臨床心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神田 靖士 <令和4年4月> 博士(化学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 <令和4年4月> 博士(創造都市)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 <令和4年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ <令和4年4月> 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 <令和4年4月> 博士(医学)
		栄養学 生化学
兼任	講師	今村 行雄 <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 公衆衛生学
兼任	講師	宮田 重樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	神田 靖士 <令和4年4月> 博士(化学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 <令和4年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 <令和4年4月> 博士(創造都市)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 <令和4年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ <令和4年4月> 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 <令和4年4月> 博士(医学)
		栄養学 生化学
兼任	講師	今村 行雄 <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 公衆衛生学
兼任	講師	宮田 重樹 <令和4年4月> 博士(医学)
		整形外科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	石井 淳一 <令和4年4月> 博士 (医学)	兼任	講師	石井 淳一 <令和4年4月> 博士 (医学)
		精神医学			精神医学
兼任	講師	渋谷 静英 <令和4年4月> 学士 (教育学)	兼任	講師	渋谷 静英 <令和4年4月> 学士 (教育学)
		チームリハビリテーション概論			チームリハビリテーション概論
兼任	講師	戸名(井下) 久美子 <令和4年4月> 修士 (人間科学)	兼任	講師	戸名(井下) 久美子 <令和4年4月> 修士 (人間科学)
		チームリハビリテーション概論			チームリハビリテーション概論
兼任	講師	伊黒 浩二 <令和4年4月> 修士 (健康科学)	兼任	講師	伊黒 浩二 <令和4年4月> 修士 (健康科学)
		テーピング技術論			テーピング技術論
兼任	講師	李 庸吉 <令和3年4月> 博士 (法学)	兼任	講師	李 庸吉 <令和4年4月> 博士 (法学)
		医療関係法規論			医療関係法規論
			兼任	講師	広田 知行 <令和4年4月> 博士 (医学)
					精神医学

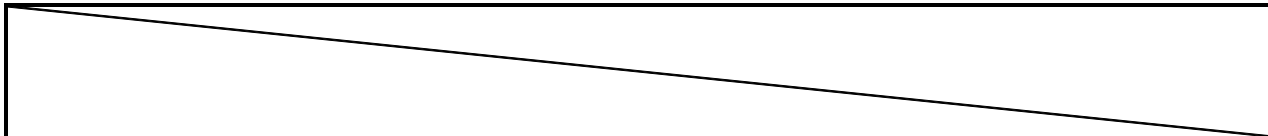
- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・青木 元邦教授(専任)が令和3年4月より学長に就任し、令和4年4月より専任をはずれたため五十嵐 淳介教授(兼担)が「臨床病態学Ⅰ」、「臨床病態学Ⅱ」を担当。
- ・北村 清一郎教授(兼担)退職のため堤 真大助教(専任)が「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」、「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」を担当。
- ・昇任人事により講師から准教授へ変更
角田 晃啓(専任)
- ・令和3年4月より以下の専任教員が就任
国宗 翔助教、堤 真大助教、平川 正彦助教
- ・令和4年4月より以下の専任教員が就任
檜垣 奨 助教
- ・令和4年4月より以下の兼担・兼任教員が就任
五十嵐 淳介教授(兼担)、広田 知行講師(兼任)

【令和5年度】



【令和6年度】



【令和7年度】



- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	3	3	2	16	0	6	4	2	6	18	0
(6)	(4)	(2)	(6)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	4	2	6	18	0	6	4	2	6	18	0
[Δ2]	[1]	[Δ1]	[4]	[2]	[0]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[4]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{16} = \boxed{112.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	青木 元邦	R4.3	必修	臨床病態学Ⅰ	①	R3.4 学長に就任し、R4.4 より専任教員をの任を解かれたため、未就任となった。			
				必修	臨床病態学Ⅱ	①				
2	教授	北村 清一郎	R4.3	必修	人体の構造演習Ⅰ（運動器）	①	R4.3 一身上の都合のため就任辞退（4）			
				必修	人体の構造演習Ⅱ（運動器）	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{16} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の役職変更や自己都合による退職のため、致し方ないとする。専任の助教4名と兼担の教授の後任補充を行ったため、教育内容や学生への履修等への影響は無いとする。また学生へは事前にシラバス及び時間割発表時に周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

自己点検評価・FSD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度において12回実施した。

c 委員会の審議事項等

- ・令和3年度自己点検評価・FSD委員会事業計画（案）について
- ・自己点検評価・FSD委員会規程の改定について
- ・アセスメントポリシー関連指標一覧とスケジュール(案)について
- ・自己点検評価・FSD委員会 事業計画進捗報告について
- ・アセスメントポリシー検証「2020年度GPA結果」について
- ・2021年度全体SD研修について（案）
- ・教職課程の情報の公表について
- ・教育方法改善研究部会の活動内容について
- ・令和3年度教育の質に係る客観的指標の調査について
- ・2021年度後期 授業評価アンケート・公開授業実施について
- ・ガバナンス・コード実施状況の点検と公開について
- ・2021年度前期 授業評価アンケート報告会について
- ・ガバナンス・コードの実施状況点検表（案）について

② 実施状況

a 実施内容

- ・令和3年度自己点検に係るエビデンス集・データ編および公開の実施
- ・学内FSDセミナーの開催
- ・令和3年度授業評価アンケート、公開授業週間の実施
- ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置
- ・学外研修会・セミナー等の案内

b 実施方法

- ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会
- ・教員全体の公開授業週間のアンケート、その結果に基づくフィードバック会

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和3年度の授業評価アンケートは
前期（令和3年7月頃）に全学科・全学年延べ434件（保健医療学部理学療法学科として53件）
後期（令和3年11月頃）に全学科・全学年延べ348件（保健医療学部理学療法学科として40件）実施した。
- ・令和3年度の公開授業週間は
前期（令和3年7月）に実施し、公開授業科目数38科目、授業参観教職員数が延べ462名参加した。
後期（令和3年11月～12月）に実施し、公開授業科目数96科目、授業参観教職員数が延べ720名参加した。
- ・FSDセミナーとして
令和3年9月～令和3年12月「令和3年度 研究費コンプライアンス研修会（動画配信）」210名受講

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和3年度においては前期（令和3年7月）、後期（令和3年11月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクションペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況 (日)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に記載した設置の趣旨・目的の達成に向け、計画通り、教育研究活動を実行できている。
令和4年入学者においては70名を受け入れた。今後も継続して教育活動の充実を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年8月末日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、審査の結果令和3年3月に適合の認定を受けた。令和9年度受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。